

# タイ王室が茨城県を訪問



日本での農業や介護を視察するため、ディスナダ・ディスクル殿下が4日、来日し、結城市を訪れました。

農業施設や研究  
殿下と奥様、お孫  
を着て、市内の城  
「桜まつり」を楽  
文夫市長、臼井平  
城県、結城市など  
歓談し、満開の桜  
まつりのあいさつ  
正毅理事長と知り  
も知り合った。結  
2の故郷と感じて  
やメーサイ市と結城を結びつけるために働きたい」とあいさつしました。

## 結城紬に大喜び

所の視察を前に5日、  
さんの3人は結城紬  
跡公園で開かれた  
しました。前場  
八郎県会議員や茨  
の関係者とともに  
を楽しみました。  
で殿下は、「多田  
合い、前場市長と  
城は私にとって第  
いる。茨城とタイ



着物  
姿に下  
駄をは  
き、満  
開の桜  
を楽し  
んだ殿  
下。「着  
物

を着て、日本人と同じ気持ちになった。寒くて心配したが、着物は軽くて暖かく、何より日本のみんなの心が温かかった」と喜んでいました。

殿下は訪日中の7日、前場文夫結城市長や臼

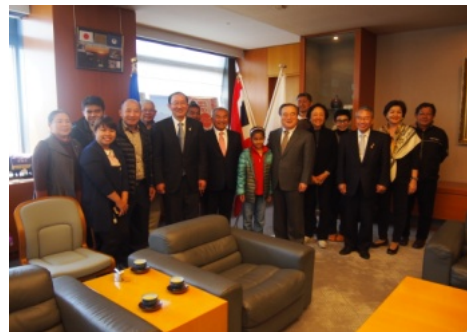
## 橋本県知事に交流促進要望

井平八郎県議会議員とともに水戸市の茨城県庁を訪れて、橋本昌  
県知事と懇談しま  
した。

橋本知事から、  
茨城の見どころや  
名産などを紹介さ  
れ、「日本は桜も



咲き、いい季節を迎えました」と歓迎を受けま  
した。殿下は「タイからミャンマーにかけメ  
コン川流域諸国のために活動  
している。茨城で介護や先  
進の農業を学び、タイで使  
えるように調整したい」と  
語りました。また、タイと  
茨城の交流について「タイ  
の観光客はすぐ東京に行く。茨城にとどめるた  
め、茨城の魅力  
を広く知らせて  
ほしい」とも要  
望しました。そ  
して「次回はもっ  
と大規模な派遣  
団を送りたい」  
と、タイと茨城



**ディスナダ・ディスクル殿下** タイ北部の少数民族の困窮に心を痛めた母のシーナカリン王太后（ラーマ8世、ラーマ9世の母）の遺志を継ぎ、2002年に「タイ山岳民族生産奨励基金」を「メーファールワン財団」に改称。「ドイツン開発プロジェクト」として、かつてゴールドトライアングルと呼ばれた麻薬地帯で、麻薬生産の代わりにコーヒーや陶器、和紙、民芸品などを生産、販売することで、犯罪とは無縁の生活を活動を展開しています。タイやミャンマーに大きな影響力をもち、クンチャイ殿下の愛称で親しまれています。

との交流に意欲を見せ  
ていました。

平成26年4月15日

